

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI船橋教室		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 19日		～ 2024年 12月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2024年 11月 19日		～ 2024年 12月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子プログラムの実施での子育てサポート加算	運動以外の五領域の部分も保護者の方にみれる環境づくりとして、制作等を行っています。	子ども自身も飽きないように被らないイベントを実施して参加数下がらないように今後もしていきます。
2	個別での利用	まだ小集団での活動が難しいお子様や、プレのお子様にも小集団に入れるようにする事を目標に運動に参加できる場所作りを行っています。	
3	順番の並び方や待ち方を療育の中で学べる場所	小学校への就学に向けて、しるしやマーカー等を使用し待つ・並ぶが子どもたちも自然にできるように取り組んでいます。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	振替の促しが薄い	欠席があった場合、欠席時に振替のご提案はしていますが、その後リマインドとしての連絡が浅く、上手く振替率に繋がっていない現状です。	欠席時の振替の促しを増やしていきます。(LINE等を使用し)
2	保護者同士の交流機会が少ない	保護者様からの評価表にもあったとおり、保護者の皆さまでの交流があまりありません。	親子プログラムでの親子で触れ合える場所を作って交流が持てる場を提供できるようにしていきます。
3	男性職員がいないこと	跳び箱や鉄棒など苦手なお子様を補助するのに力の強い男性職員の必要性を感じております。体格が大きくなると二人での補助となり、運動の幅が狭まってしまうことが課題です。	人員配置や職員の採用等を人事に相談していくとともに、運動プログラムも検討してまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMI船橋教室

公表日 令和 7年 2月 21日

利用児童数 31

回収数 18

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	1			・とても広い空間で少人数で行われているので安心できます。	・ご意見いただきありがとうございます。引き続き安心していただけるよう努めて参ります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17		1		・いつも先生に付き添っていただいで運動しているのでありがたい。	・ご意見いただきありがとうございます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	1			・バリアフリーなので安全。	・ご意見いただきいただきありがとうございます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	3			・工作イベントと運動療育の時間が同一空間というのは疑問。 ・運動の始めと終わりに手の消毒をしてくれています。	・ご意見いただきありがとうございます。子どもたちが運動に集中できるような環境づくりを行ってまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1	1		・理学療法の先生がたまに来て、アドバイスをくださると更に嬉しい。最初の頃いたと聞いたような気も。 ・子どもに合わせて一緒にやってくれるところがよい。	申し訳ございません。船橋教室が開所してからこちらの教室にはPTの資格を持った職員はおりません。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	1			・合っていると思います。	・ご意見いただきありがとうございます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	1			・週1日約1時間なので、無理なく通うことができています。	・ご意見いただきありがとうございます。利用時間につきましては、お子さまの発達段階に応じて、設定させていただいております。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	1		1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17			1		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	4	7		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	4		2	・子どもへの伝え方（しつけ方）なども学べる機会（プリントなどでも）があると思います。 ・運動後に親子プログラムが設けられている。 ・親子プログラムは定期的に行われているが下に兄弟がいると参加できないので残念。	・ご意見いただきありがとうございます。ペアレントトレーニングには資格を持っているものがおりません。そのため正確にお伝えすることができないことが懸念されます。2月にメンターさんから話をうかがえる機会を設定させていただいております。 ・祝日に行っておりますイベントにつきましては保護者の方の参加や見学も行ってまいります。保護者様から兄弟も参加したいとご相談をいただいた場合対応させていただきます。

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていますか。	18				・フィードバックや送迎のタイミングが忙しいのであまり話をする事ができないように感じることがあります。	・より詳しくお子様のご様子をお伝えできるようフィードバックの内容などを見直していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	1		1	・フィードバックや送迎のタイミングが忙しいのであまり話をする事ができないように感じることがあります。	・より詳しくお子様のご様子をお伝えできるようフィードバックの内容などを見直していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18					・より詳しくお子様のご様子をお伝えできるようフィードバックの内容などを見直していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	3	2	7	親子プログラムの時に顔を合わせるくらい。	・ご意見いただきありがとうございます。親子プログラムにて保護者様同士で関りが持てるような内容などを見直していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15		1	2	・困りごとについては保育園に相談している。	・ご意見いただきありがとうございます。契約の面談時にお伝えしております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17			1	・なされているとは思いますが、先生方とのコミュニケーションの時間は少ない方だと思っていると思う。	・ご意見いただきありがとうございます。運動プログラムについては、コミュニケーションお取り入れながらの内容を見直していきたいと思っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	3		3	情報発信はしていると思う。	・ご意見いただきありがとうございます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	1		1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16			2	マンション内なので津波避難は、垂直避難を可能とさせてあげて欲しい。マンションとの交渉は難しいかもしれないが。	・ご意見いただきありがとうございます。子どもたちが迅速に避難できるように検討させていただきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1			契約時にきちんと説明を受けました。	契約時に説明させていただいております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16		1	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	1			楽しくやっています。	ご意見ありがとうございます。今後もお子様が楽しく通所していただけるよう努めて参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	1			・様々な運動ができて楽しそうです。 ・楽しみにしていて、本人も楽しそう。	引き続き笑顔で通所していただけるよう努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	1	1		大満足です。	・引き続き満足していただけるよう努めて参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	TAKUMI船橋					公表日	令和 7年 2月 21日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1		利用曜日希望が重なってしまい、利用人数が多い日には狭く感じてしまうことがあるので、工夫していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	4			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	4			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日利用した道具の消毒と清掃を行い、清潔な環境を維持しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		活動終了後に、ミーティングを行い活動や利用者様に対しての課題など業務改善を努めています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		他教室への研修機会があります。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		月に目標の運動内容を設定して目標の支援プログラムを作成しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		ミーティング時に職員全体で共有しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		活動前と活動後にミーティングを行い、チーム全体で話し合っています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1	センター主催の研修には参加しています。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		交流はない為、機会を作っていきたいです。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		フィードバック時にお伝えしています。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	家族に対して、よりよい支援ができるよう活動研修の実施をしています。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5			父母の会等は開催していませんが、親子プログラムやイベントを通じて、きょうだいでも参加できるものを開催し支援しています。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			LINEにてイベント開催やお知らせを送信しています。子ども自身にもお知らせして把握できるように努めています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			対応に備えて避難訓練前に話し合いを職員間で話し合い、訓練を行っています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			非常発生に備えて避難訓練を子どもたちと一緒にを行っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			ヒヤリハットがあった際に職員間でカメラ映像をみながら話し合いを行っています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5				

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2024年 11月 19日		～ 2024年 12月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2024年 11月 19日		～ 2024年 12月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校体育に向けての運動の充実	月に行う運動を決めて(跳び箱や縄跳びなど)学校での体育にも自信がたつがるよう、学校体育を意識した運動を行っている。 運動を分解しサーキットなどに取り入れ、スモールステップ成功体験につなげるように運動を行っている。	学校体育を継続させて子どもたちへの自信に繋げる。
2	イベントの開催から追加振替への案内として取り組んでいる	イベントの告知も保護者様に向けてと子どもたちに向けて分けて行い、子どもたちの興味から参加を促している。	イベント日時を増やせるようにして利用人数に繋げていく。
3	利用人数が増えてきている	保護者様のニーズに合わせて療育を行い、保護者様からも参加したい気持ちへ促している。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	部屋のスペースが狭い	部屋での天井の高さや、広さが無く、走る運動での怪我へつながりやすくなってしまっている。	
2	日当たりの悪さ	日当たりが悪い事による部屋内の寒さでの体調不良者が増えているところ。	暖房をつけるタイミングなどで部屋を暖める状況作り。
3	子どもの意見を出して行うプログラムが少ない	学校体育中心で、職員中心に回ってしまい、子どもたちの話し合い活動時間や意見を出してもらう時間が少ない。	子ども同士で決めてもらう等、話し合う時間の設定を行っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMI船橋教室

公表日 令和 7年 2月 21日

利用児童数 43

回収数 18

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	3			自由時間の時にスペースが足りない感じがある。	スペースには限りがありますので、その中でも安全に、また運動量の確保には努めて参ります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1		1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18				室内はバリアフリーになっていて、過ごしやすいと思う。	危ない箇所にはカバーをしたりと今後も継続して参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18					
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2		8	8	通所している子以外での交流の場はないような気がする。	状況としてニーズがあるようでしたら今後検討して参ります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	4	2	7	提示だけでなく、LINE等のツールで案内するのも可かと思う。	必要性に応じて検討して参ります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	16	2				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	3		1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	2				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	6	2	6	・挨拶などはするけれど交流はない。 ・イベントは親子プログラムにたまに参加しています。 ・保護者会やきょうだい向けイベントは、よくわからない。	貴重な意見と受け止め教室全体で取り上げて改善できるように努めるようにしております。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	2		2	・相談に対して迅速かつ適切に対応してもらっている。 ・相談に乗ってもらったり話をきいてもらえたりと、親としてはかなり助かっている。	今後も継続して参ります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	1		2	・活動内容や行事予定の連絡をしてきている。 ・他教室にくらべてインスタ投稿が少ない。	貴重な意見と受けとめ教室全体で取り上げて改善できるように努めるようにしております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17			1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16			2	怪我をした際には、速やかに連絡があり詳しく説明があった。	今後も継続して参ります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18				その日の状況によって気持ちに波はあるが、たのしめていると思う。	今後も継続して参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	18					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	TAKUMI船橋教室				公表日	令和 7年 2月 21日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	人数が多い場合、部屋分けをして運動を行いスペースをなるべく確保しながら、行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	4	配置数が足りない場合は、ヘルプを呼び、なるべく適切な職員の配置数で利用を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	4	階段が基本的になく、肢体不自由なお子様でも動きやすいようになっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日利用した道具の消毒や床などの清掃と清潔な空間を意識しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		気持ちが崩れてしまったとき等、気持ちを落ち着かせるために部屋と使用する事を認めています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		毎週ミーティングの時間を作り、その週に行うことを話し合い、お休みの職員にも共有できるようノートへまとめています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎週のミーティング(イベント開催内容等)で職員が意見を出す機会があり、改善に繋がっています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		児発管の方が、協議会に入ってから毎回会議に参加して下さっています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		月間で行う運動を決めて、怪我のないように運動プログラムを作成する事を意識しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		毎回のフィードバックを忘れずに行い、保護者さまのニーズに合わせて一人ひとり取り組んでいます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		ミーティングを行い、共通認識で子どもたちへ療育を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		子ども一人ひとりに合わせた支援内容の設定をしています。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	活動プログラムの開始前・終了後にミーティングを行い、情報共有や振替を職員全体で行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		毎月のイベント実施。月に行う運動を設定してその運動を目標に取り組みんでいます。	月に行うイベントが固定化してきているので、工夫してまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		その日の子どもの状況や様子に合わせて、個人活動にしたりと支援を変更しながら取り組んでいます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		活動前に最近の子ども情報であったり、行動を想定して職員全体で役割分担を話し合い、支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	5		終了後毎日、職員全体でミーティングを行い振替を行いながら当日の子ども様子を記録しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		支援終了後ミーティングにて、支援の記録を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的に保護者のかたと面談を行い、モニタリング時の様子をお伝えして、保護者の方のニーズに合わせ個別支援計画書の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		活動への参加の決定を行う際には、複数の案をごちらが提供したりして、本人から伝えてもらうように支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		学校見学が可能な日時には積極的に参加をして、必要であれば本児の情報を提示して連携を行う体制が出来ています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1		基本的に保護者様からの情報から得ており、学校と繋がる事ができていない現状です。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		保護者様から希望があれば就学前の引継ぎ書類を制作しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		教室の様子を鑑みながらではありますが、放デイ協議会にてのイベントは参加できる限りしています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		昨年度から加入して児発管のかたが積極的に参加してくれています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		活動終了後一人ひとりへフィードバックを行い、様子や今練習しているものの状況を伝えています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	毎日、親子プログラムを開催して親子で参加するものや、近くでみてもらい親子でのコミュニケーション時間を提供しています。	家族の対応力向上に向けた研修機会は用意できていませんので、検討してまいります。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5				

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		更新面談時にお話しをお伺いしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		保護者の方からご希望があった場合、面談を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	1	父母の会や保護者会は行っていないが、運動見学や親子プログラム、イベントといったきょうだい同士や保護者同士で交流できる場所を提供しています。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	1	LINEを活用し保護者の方へ今後の行事や情報を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		保護者の方が想像しやすいようにどんな運動をしたのかその場でだったり、分かりやすいフィードバックを意識しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		市の協議会に参加し、地域活動スタッフとして会員活動をしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		備品や職員の動きを確認して、定期的に避難訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		事前に支援計画書を読みながら職員全体で確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		なるべく飲食物関係を活動内ではなくしてはいます。もしもの事があるため、契約時に保護者の方へ聞き取りを行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		避難訓練前など、安全確保ができていないか、全体で確認しています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		契約面談時に、避難経路の説明と避難訓練実施について説明しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットが起きた日のミーティング時にカメラを確認しながら経緯を確認し、再発のないよう毎回策を話し合っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止研修を行い、職員間で適切な行動について話し合い、行動しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		契約面談時にどんな場合にどんな身体拘束があるのか説明を含めながら、必ずお伝えしています。		